

主体性と意思決定を引き出す 『チーム運営の技術』

チームの力を最大化するためには、全員が参画し自ら意思決定と行動を起こす運営技法が必要です。ファシリテーション・スキルはこのチーム運営技法そのものです。

このようなご要望にお応えします

議論が右往左往して
決めるべきことが
決まらない状態を
改善したい

発言する者が偏った
会議を変革したい

なかなか本音で
話し合わない討議に
頭を悩ましている

会議で決まったことが
実行されない状態を
問題だと感じている

セミナーのねらい

職場会など会議の場において吸い上げた多様な現場の声をまとめ、解決の場として有効にすすめるために必要な「ファシリテーション・スキル」のポイントを習得します。そのことにより、リーダーは、自信を持って会議を運営できるようになります。また、「指示でやらされている」ではなく、「自ら決定したことを実行したい」という意識をメンバーがもつようになり、納得度の高い会議が開催されることで、メンバーの参画意識が高まり、結果として組織の成果が向上します。

受講対象者

職場委員、執行役員

プログラムの特徴

- ・実績豊富なプロ・ファシリテーターが講師。
- ・「シンプルでわかりやすく」、そして、「できる」状態を生み出すプログラム。
- ・「講義」→「実習」→「実習の振り返り」の流れで構成され実践に力点を置いた内容。

株式会社ライフワークス

www.lifeworks.co.jp

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-3 TEL:03-5157-1470 FAX:03-5157-1471

プログラム紹介

内容

1. 自分たちの会議を分析する
2. ファシリテーションの概要
3. 基本スキル①「議論の見える化」
4. 基本スキル②「グループの観察」
5. 基本スキル③「問題解決会議」
6. 学習のまとめ

対応可能な
バリエーション

2時間	
半日	
1日	○
2日	○

プログラム（1日コース） 概要

TIME	タイトル	主な内容
	1. オリエンテーション	
10:00	2. 自分たちの会議を分析する	・準備/進行/フォロー ・われわれの会議の問題は何か？
	3. ファシリテーションの概要	・ファシリテーションとは ・ファシリテーターとリーダー ・3つの提示と4つの技法
	4. 基本スキル①「議論を見える化」	・実習:フリップチャート ・振り返り
12:00		昼食
12:45	5. 基本スキル②「グループの観察」	・コンテンツとプロセス ・グループ・プロセスの観察
	6. 基本スキル③「問題解決会議」	・実習:現実/目標/選択肢/意思 ・振り返り
18:00	7. 学習のまとめ/コミットメント	1日の「気づき」をまとめ、実行計画をたてる

受講者の声



- ・実際の悩みを題材として活用したので、各支部の悩みや状況を踏まえた解決策を考えることができ、また、話し合いの進め方について学べて有意義だった。
- ・発言のないメンバーも、これで主体的に参加してもらえると期待します。
- ・意見がなかかなまとまらない会議での、合意と意志決定方法がわかりました！

講師



下村 裕篤(しもむら ひろあつ)

(株)コーチング・ラボ・ウエスト 代表取締役
(株)フューチャー・ビジョン 代表取締役

組織変革ファシリテーター
国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ

人事コンサルティング会社にて、雇用・教育・給与評価コンサルティングに関わる。
営業部門・商品企画部門・人材紹介部門などの事業責任者を歴任。その後、コーチング&ファシリテーションを中心にしたコンサルファーム「コーチング・ラボ・ウエスト」を設立。

専門領域

- ① 人と組織の問題解決
- ② 営業部門の問題解決
- ③ コーチング&ファシリテーション

主な研修・講演実績

パナソニック、NTT、住友電工、関西電力 シャープ、大阪ガス、中国電力、大日本スクリーン旭硝子、デンソー労働組合、西友労働組合 静岡銀行労働組合、神戸製鋼労働組合 など